

臨床検査技術―感染症の適切な診断のための微生物検査― Clinical Laboratory Technology: Clinical Microbiology for Proper Diagnosis of Infectious Diseases		継続	
対象国の条件：			
研修コース番号：201984432-J002			
案件番号：201984432			
主分野課題：保健医療/その他感染症			
副分野課題：保健医療/保健医療システム			
使用言語：英語			
案件概要			
本研修では、感染症の診断の向上、及び参加各国内でのラボラトリーネットワークの強化に向けて、国／地方の基幹医療機関もしくは診断部門と連携できる基幹検査機関の臨床検査業務に従事する者が、１）精度の高い検査技術（微生物検査）２）検査室管理・運営の手法を習得し、説明できるようになることを目指す。なお、薬剤耐性菌に関する最新の知識と検査技術は本コースで取り扱う内容に含まれている。			
目標／成果		対象組織／人材	
【案件目標】 研修員が、自国の保健システムの中での臨床検査の役割を踏まえ、感染症の適切な診断と治療に必要な精度の高い検査技術および検査室管理・運営の手法を習得し、説明できるようになる		【対象組織】 国または地方の基幹医療機関もしくは診断部門と連携できる基幹検査機関のうち、微生物検査を実施している機関	
【成果】 1. 微生物検査を効率的に進める検査室の管理・運営手法を習得し、説明できる。 2. 感染症対策に必要な臨床検査の知識と技術を習得し、説明できる。 3. 感染症の診断に必要な検査の有効な活用法を習得し、説明できる。 4. 自国の保健システムの中での臨床検査の役割を理解し、日々の業務に活用できる。		【対象人材】 国または地方の基幹医療機関もしくは診断部門と連携できる基幹検査機関に勤務する者で、 1）臨床検査業務に従事する臨床検査技師、もしくは医師、薬剤師、看護師 2）研修で習得した技術及び知識の普及を実行可能な責任ある立場にある者 3）微生物検査に従事している者	
内 容			
1-1 微生物検査室のバイオセーフティー及び標準予防策 1-2 検査の品質管理及び検査室管理 1-3 スタッフの教育と管理		本邦研修期間	2019/10～2019/12
2-1 迅速検査としての塗抹検査法 2-2 材料別検査法（検査の進め方、結果の解釈及び報告） 2-3 各種培地の特徴と使用法及び医学的に重要な細菌の集落の特徴 2-4 同定検査法 2-5 薬剤感受性検査法及び主要な薬剤耐性菌の特徴		担当課題部	人間開発部
3-1 各種感染症の診療における検査情報の有効活用 3-2 感染症対策（院内感染を含む）における微生物検査室の役割		所管国内機関	JICA東京（人間計画）
4-1 保健システムにおける臨床検査の役割と検査室ネットワーク 4-2 感染症の流行状況把握のための疫学と情報の収集・評価（感染症サーベイランス） 4-3 国際感染症対策の潮流			
※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創（Knowledge Co-creation）」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。			関係省庁
		実施年度	2018～2020
主要協力機関	公益財団法人 国際医療技術財団		
特記事項 及び ホームページ			